

# 第4回 高次脳機能障害 全国事業所職員ネットワーク研修会

特定非営利活動法人 脳損傷友の会高知 青い空  
〒780-8040 高知県高知市神田 462 番地 7

## 助成事業の概要

平成31年2月23日に第4回高次脳機能障害全国事業所職員ネットワーク研修会を開催しました。高次脳機能障害全国事業所職員ネットワークは、日本高次脳機能障害友の会を母体とし、高次脳機能障害者の支援を実施している全国の事業所の集まりです。

高次脳機能障害は、注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害、失行症、失語症、失認症など多様な症状を呈します。認知的な障害であることから周りから障害の理解がされなかったり、自分の病状が認識できなかつたりすることから支援が円滑に進まないことも多々あります。

本大会のテーマは「社会的行動障害再考」と題し、前半の基調講演には兵庫医療大学リハビリテーション学部作業療法学科講師の清水大輔先生をお招きし、社会的行動障害の対応についてご講演頂きました。後半は困難事例のグループ討議を行いました。広島県のクラブハウス・シェイキングハズ、高知県の青い空から事例を提示し、グループでの検討を行いました。

## 事業の成果

参加者は22名で、職種別の人数は生活支援員5名、職業指導員2名、就労支援員1名、社会福祉士2名、理学療法士2名、作業療法士4名、サービス管理責任者1名、管理者1名、施設長1名でした。

基調講演では、社会的行動障害の各症状を医学的

に解説して頂きました。事業所でよく見受けられる問題行動は、どのような仕組みで引き起こされているのかを脳科学の観点から考えることで、より障害を理解することに繋がったと考えられます。

事例検討では、グループ討議であったこともあり他事業所の職員と意見交換・議論をすることで協調することや参考になることが多々ありました。多職種で議論することでアイデアにも広がりがありました。

研修会を通して、他事業所の職員と交流を持つことができ、高次脳機能障害者支援のネットワーク作りの一助にもなっていることが考えられます。参加者からの感想としては、「広い視点で捉えることの重要性を再確認できました。」「基本的な病態や症状、意気込みなど勉強になりました。」「事例検討会もいろいろな角度から聞くことができ良かったです。」「午前の話と午後の話がつながっていてとても良かったです。」「大変勉強になりました。事業所での支援に役立つことがいっぱいありました。」「講演については、とてもためになる話を聞いた。事例検討は他事業所の方々からもいろいろな意見を聞いたので、今後の関わりに参考にしたいと思いました。」「事例について、自分の中ではいっぱい考えたことがグループになるとより多彩な考えが集まり可能性が広がっていく気がしました。当事者さんの道が前に進んでいきますように。」などと肯定的な意見が多く聞かれました。

## ■ 成果の広報・公表

---

参加したそれぞれの団体の参加者が聴講した基調講演での知識やグループ討議した困難事例について、各事業所の支援に役立てていきます。困難事例を共有することで、質の高い支援の拡充につながると期待します。また、本研修会の報告書を作成し、加盟団体には郵送予定です。参加できなかった団体職員が報告書を閲覧することで高次脳機能障害を有する方への支援が向上することも期待します。

## ■ 今後の展開

---

現在、高次脳機能障害は十分に認知されているとは言い難く、当事者・家族は困りごとを抱えて生活しています。支援の方法も確立していない状態で、高次脳機能障害の普及・啓発が求められます。今回、医学的・専門的な内容の講演でしたが、表面上の行動だけでなく、背景となる脳機能を理解することで、現場での疑問の解決や、支援のアイデアにすることができたと思います。

今後も高次脳機能障害者支援の一環として高次脳機能障害者全国事業所ネットワーク研修会は継続して実施していきます。